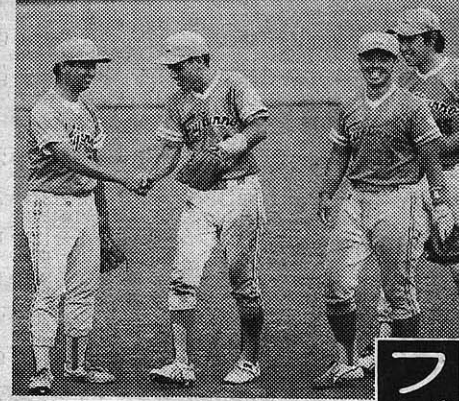


優勝を決め、握手を交わして喜びを分かち合うフジウノノ野球クラブの選手たち



全日本クラブ野球県予選

# フジウノノ野球 全国切符

フジウノノが二年ぶり四度目の全国切符 第22回全日本クラブ野球選手権県予選は六日、富士球場で準決勝、決勝が行われた。フジウノノ野球クラブ―富士クラブの決勝対決は、フジウノノが松尾、杉山の好投と強力打線の活躍で7―1で富士クラブを下し、昨年の雪辱を果たした。フジウノノは九月二十日から神奈川県川崎市川崎球場などで開催される本大会に出場する。

## 木下「振る回転」先制&2ラン

▽決勝 (富士)  
富士クラブ  
0000010000 7  
31020001X 7  
フジウノノ野球クラブ  
(富士) 佐野 望月 豊 古川 一 佐藤  
(フ) 杉山 松尾 山本  
(木下) △三塁打 井藤 遠藤  
▽二塁打 △土屋 井藤 遠藤  
早 村松 △山口 藤田 (富士)

さあ全国大会。今までは遊びに行ってきたけど、今年には優勝しに行きましょ」と館岡監督は二年分の笑顔を見せた。(小沼 俊剛)

▽準決勝  
フジウノノ野球クラブ  
2000010003 6  
0000000000 0  
静岡硬式野球倶楽部  
松尾 山本  
(静) 実石 杉山  
(困) 佐野 △二塁打 遠藤 △  
宮城 小長谷和 (静)  
三塁打  
0001021000 6  
01000014X 5  
富士クラブ  
(富士) 小野寺 菊池 山口博 松本  
(富士) 佐野 佐藤  
(困) 大原 △三塁打 飯塚 △  
▽二塁打 △時田 望月 郁 藤田  
(富士) 前田 (栗原) (三)

フジウノノ野球クラブが底力を見せつけ、静岡を制した。試合を引き締めたのは二人の左腕だ。準決勝は六年間エースを務める松尾が、131球の熱投で6安打の完封劇。決勝は投げがら戻ってきた杉山が、8回を1失点に抑え、責任を果たした。館岡孝監督は開口一番「投手がよく頑張った」と絶賛した。

しかし「今年のチームは強いんですよ」と公言する理由は、打線の好調ぶり。準決勝こそエンジンがかかるのが遅かったが、決勝は毎回の14安打で、富士クラブの好投手・佐野を粉砕した。その中で二年目、五番の木下は初回の先制2点打に続き、四回には右中間へ文句なしの2ランだ。

「ただ、来た球を思いっきり振っただけで振り返ったが、この一発で試合は決まった。」

(7回コールド)

3(3020)0007(木下)